

令和3年度 岸和田市立春木中学校 学校経営方針

<p style="text-align: center;">《めざす生徒像》</p> <p>変化が激しく予測困難な社会では、主体的に課題と向き合い、多様な他者と協働して、ねばり強く解決しようとする力が求められる。また、集団や社会の中で、責任ある社会人としての生き方・あり方も求められる。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 人権を尊重する ② 主体的に行動する ③ 多様性を尊重し民主的に協働する ④ 自律的にねばり強く学習する ⑤ 生命や自然を大切にす ⑥ 集団や社会のために貢献する ⑦ 言語・数量・情報を自在に扱う ⑧ 夢や希望を持ち続ける 	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center; padding: 2px;">学校教育目標</td> <td style="width: 50%; text-align: center; padding: 2px;">よい社会人となるように育成する</td> </tr> </table> <p>春木中学校がめざす「よい社会人」のすがた</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 人権尊重の精神に徹した自主的・民主的な人 ② 正しい判断ができて自分の行動に責任が持てる人 ③ 心身ともに健康で調和のとれた人 ④ 素直で実行力があり何事も根気よく遂行できる人 <p>本年度の重点</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">一 ちがいを尊重する（人権の尊重）</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">二 自分で決める（主体性・判断力・責任感）</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">三 あきらめずに取り組む（忍耐力・自律心）</td> </tr> </table>	学校教育目標	よい社会人となるように育成する	一 ちがいを尊重する（人権の尊重）	二 自分で決める（主体性・判断力・責任感）	三 あきらめずに取り組む（忍耐力・自律心）	<p style="text-align: center;">《めざす教師像》</p> <p>「知識基盤社会」の到来、グローバル化、情報化、少子・高齢化など、社会構造の大きな変動期を迎えている。未来に生きる子どもたちに、変化に対応する力や新しいものを生み出す力を、ねばり強く育てていく指導力が求められている。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 使命感と誇りをもち職責を全うする ② 学び続ける姿勢をもつ ③ 高い専門性をもとに授業で勝負する ④ 深い愛情をもち子どもを理解する ⑤ 全ての子どもが大事にされる学級集団をつくる ⑥ 人格形成に関わる者としての資質を備える ⑦ 多様な考えの他者と協働して成果をだす ⑧ 陥りがちな思い込みを常に改善する
学校教育目標	よい社会人となるように育成する						
一 ちがいを尊重する（人権の尊重）							
二 自分で決める（主体性・判断力・責任感）							
三 あきらめずに取り組む（忍耐力・自律心）							
<p style="text-align: center;">《課題解決に向けた取り組み》</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) すべての生徒の学力を高める <ol style="list-style-type: none"> ① 「社会に開かれた教育課程」の理念に基づいた授業改善 ② 「はるトーク」を起点とした対話のある授業づくり ③ 目標設定と授業の見通し、振り返り、評価の充実 ④ フィードバック（言葉による評価）を全教育活動で充実 ⑤ 生徒一人ひとりの生活習慣の確立と自律学習力の育成 (2) 教育力の高い学級集団をつくる <ol style="list-style-type: none"> ① 「はるちゅうタイム」を通したかかわりの力向上とルールへの定着 ② 民主的な課題解決を体験させる学級会の充実 ③ 学校行事を通した所属感や連帯感、公共の精神の育成 (3) GIGA スクール構想の初年度として積極的な活用を図る <ol style="list-style-type: none"> ① 1人ひとりの反応を踏まえた双方向型の「一斉授業」を行う ② 個別の教育的ニーズや学習状況に応じた「個別学習」を行う ③ 各自の考えをリアルタイムで共有する「協働学習」を行う 	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">《研究主題》 「自尊感情とソーシャルスキル」を育てる ～学校が一枚岩となって取り組む『はるちゅうタイム』～</td> </tr> </table> <ol style="list-style-type: none"> (1) 「はるちゅうタイム」を全学級・全教員で毎週水曜日の6限に行う <ol style="list-style-type: none"> ① ルールを徹底する（あいさつ、うなずき、指示を聴く） ② 生徒も教師もかかわりを楽しみ、かかわりを通して成長する ③ 自尊感情とソーシャルスキルの育成がねらいであることに留意する (2) 「はるトーク」を全教科の授業で行う <ol style="list-style-type: none"> ① 「はるちゅうタイム」のかかわりを授業場面でも使う ② インストラクション（導入）とフィードバック（評価）を重視する ③ 対話のルール、時間の枠、答え方の型をあらかじめ説明する (3) 効果を検証し全職員で改善する <ol style="list-style-type: none"> ① 生徒観察、アンケート、QU等によって多角的・多面的に効果を検証する ② 結果を全教職員で共有し改善に活かす ③ 子どものための実践・研究であることに留意する 	《研究主題》 「自尊感情とソーシャルスキル」を育てる ～学校が一枚岩となって取り組む『はるちゅうタイム』～					
《研究主題》 「自尊感情とソーシャルスキル」を育てる ～学校が一枚岩となって取り組む『はるちゅうタイム』～							